

お詫びと訂正

『つなげて理解！病気がわかる解剖・病態イラスト図鑑』（2025年9月26日発行）につきまして、誤りがございました。

お詫び申し上げますとともに、以下のように訂正いたします。

(2026年9月14日)

訂正箇所	p.17 ■病態 「閉塞性肺疾患」と「拘束性肺疾患」の図入れ替え
誤	■病態 閉塞性肺疾患 肺の破壊または、気管支内腔の狭窄による気道閉塞のための呼気性呼吸困難 →残気量増大，肺活量変化なし 正常 呼気位 吸気位 異常 新鮮な空気 古い空気 肺胞が硬い カチ 気管が詰まる(閉塞)から、肺胞に新鮮な空気は入らず、肺胞の古い空気も出ていきません。 拘束性肺疾患 肺実質の減少または肺組織の硬化、胸郭の病変による肺の伸展障害のための吸気性呼吸困難 →肺容量減少，残気量減少，肺活量減少 正常 呼気位 吸気位 異常 新鮮な空気 古い空気 空気の入れ換えができない 肺胞周囲が硬くなり、肺胞の伸縮性が弱くなるため新鮮な空気は入らず、古い空気は出ていきません。

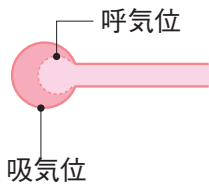
(次頁につづく)

■病態

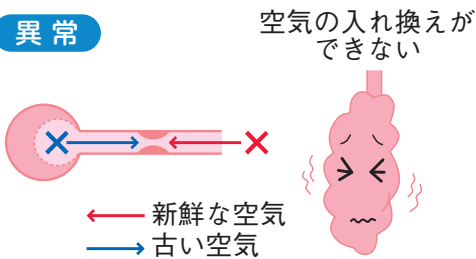
閉塞性肺疾患

肺胞の破壊または、気管支内腔の狭窄による気道閉塞のための呼吸性呼吸困難
→残気量増大、肺活量変化なし

正常



異常

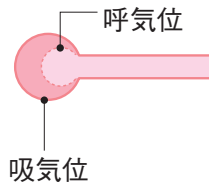


気管が詰まる(閉塞)から、肺胞に新鮮な空気は入らず、肺胞の古い空気も出ていきません。

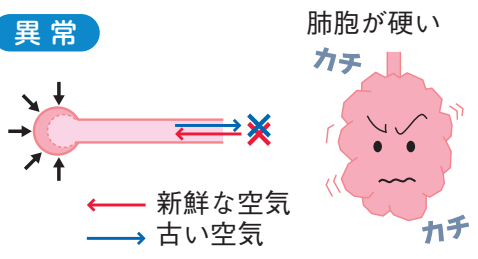
拘束性肺疾患

肺実質の減少または肺組織の硬化、胸郭の病変による肺の伸展障害のための呼吸性呼吸困難
→肺容量減少、残気量減少、肺活量減少

正常



異常



肺胞周囲が硬くなり、肺胞の伸縮性が弱くなるため新鮮な空気は入らず、古い空気は出ていきません。

正